


「校歌」にこめられた願い

ご存じの方も多いと思いますが、本校の校歌はミュージシャンの宮沢和史様が作詞作曲してくださっています。宮沢さんが当時の学校関係者と何度も打合せをし、子ども達への「願い」を歌詞に込めてくださったと聞いています。

ふるさとを愛し、羽ばたく子に



◎友の手を引く
◆三つのほりりよくきんし

①「カ」のほりりよく
ふざけて、たたく・ける
・悪くち、かけぐち、ひそひそ話

②「言葉」のほりりよく
・悪くち、かけぐち、ひそひそ話

③「集団」のほりりよく
・仲間はずれ、さべつ

○「富士を仰いで育む」「思い遣る心」
・あいさつと「おもいやりの言葉」がけ
・良いこと正しいことを進んで行う

○「新たな歴史刻む学舎」で「新たな学び」
・先生や友達の話をよく聞く
・考えて、つないで言葉で言う文字で書く

○「人の傘」となる「心」と「健康な体」
・はやね、はやおき、あさこはんとトイレ
・体を動かす、よく遊ぶ、そうじをする

◇「生まれた生命」を大切に
・「あぶない」をよそうする
・「あぶない」からはなれる

舞鶴小学校 校歌

作詞・作曲 宮沢和史
編曲 長田直也

緑の柱に **生まれた生命**
富士を仰いで **育む心**

新たな歴史 **刻む学舎**
羽ばたいてゆこう
舞鶴のように

雨が降る日は **人の傘となり**
風が吹く日は **友の手を引く**

溢れる夢を 描く青空
羽ばたいてゆこう
舞鶴のように

溢れる夢を 描く青空
羽ばたいてゆこう
舞鶴のように

歌詞で何度も繰り返している「羽ばたく子」は、とても大きな願いです。どこから「羽ばたく」のか、学校はもとより、学校の礎である「ふるさと舞鶴」からだと思います。まずは「学校からの卒業」となりますが、人生という長い期間を当てはめれば、最終的には「自立した社会人としての成人になること」だと思います。子ども達が大人になって、どこで、どのように過ごしていても、小学校の校歌を口ずさみ、ふと「原風景」である「ふるさと」に想いを寄せたとき、疲れた時には安心して戻れる場所があることを胸に、自分の「ふるさと」を愛し、「ふるさと」に誇りを持ってあゆむ人になってほしいと願っています。そして、学校では、子ども達がふるさとに誇りを持って羽ばたくために、「校歌」に示されたことに取り組んでほしいと願っています。

まず歌詞の一番にあるように、何よりも一番大切なものとして、「**生まれた生命**」を大切にしてほしいです。様々な自然災害や人々の生活に多大な影響を及ぼしてきた感染症の猛威から自らの命と健康を守るために、子ども達には、いわゆる危機回避能力としての危険を予知する力、危険から自分の命を回避する力をつけてほしいと思います。

次に、富士を仰いで育む「**思い遣る心**」を醸成するためには、挨拶や「思いやりの言葉」がけを大切にして欲しいということです。ご家庭では親として、地域では大人として、子ども達に声をかけてあげてください。そして、大人として、子ども達に正しい行動を教えてあげてください。

また、「学舎」での「**学び**」は、子ども達が成長する上で必要な「知と価値」を学ぶことです。この「学び」では、先生や友達の話をよく聞くこと、考えて、つないで自分の言葉

で言ったり書いたりすることが大切です。

さらに、他者を思い遣る心と健康な体がなくては、「**人の傘**」にはなれません。健康を維持するためには、「早寝・早起き・朝ごはん・朝トイレ」が大切です。ご家庭でのお子様の様子はでしょうか。遅寝、ギリ起き、朝ごはん抜き、トイレ抜き、のお子様はいませんか。ぜひ、規則正しい生活を送ることができるよう、ご協力をお願いいたします。また、テレビやゲームは、ほどほどに、しっかりと体を動かして心と体のリフレッシュをさせてあげてください。

最後に、「**友の手を引く**」子は、学校はもちろん、家庭でも大切にしてほしい部分です。「友の手を引く」ためには、3つの暴力を禁止します。一つは、文字通り「力」の暴力です。ふざけて・調子に乗ってと叩いた方は楽しいかもしれませんが、叩かれた方は楽しくありません。また、陰口やひそひそ話のような「言葉」の暴力も、そもそも他人に聞かれては困るような内容の話をする必要があるのか、ということです。仲間はずれや差別などの「集団」の暴力については、直接体への被害はありませんが「心」に深い傷を負わせることは、十分理解できるものと思います。

「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」は、全ての子どもが、相手をリスペクトし、明るく温かい雰囲気の中で、短所を補いながら自らの良さを伸ばし、地域・社会に貢献できる社会人の素地としての「思い遣る心」を醸成しながら、「知・徳・体」のバランスのとれた健全な子ども達を育成したい、という願いを込めて、子ども達を指導・支援して参ります

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年度も本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。